

3-2 キャッシュフロー表

詳細マニュアル

1 様式の使い方

- 「キャッシュフロー表」は、「家計計画表」とともに、家計再生プランに添付する様式です。「家計計画表」をもとに、相談者の家族のライフイベントを組み込んで、1～3年先（貸付あっせんをする場合は5年）までの家計予算の推移を見るために作成します
- 「キャッシュフロー表」の収入支出欄は「家計計画表」の小計欄と連動して家計の流れを把握するものです。家計表では家計の収支全体を捉えて1か月の収支バランスが取れているかどうかを把握するため、数か月に1回支給される手当や援助収入は月当たりで換算して記入しますが、「キャッシュフロー表」では、支給月ごとに記入し、年月の経過とともに予想される支出額や、家計の過不足が発生する時期をあらかじめ予測できるようにします。この結果、相談者自身が堅実な暮らしの必要性を確認し、収支のコントロールなど、自己管理できるようになることを支援していきます。これらのことが、将来の目標に向けた計画的な家計管理につながります
- 一方で、年間の「キャッシュフロー表」を作成することによって、各月の収支の波を把握し、支出を平準化したり、数カ月分単位で支給される手当等を計画的に使うことにつながります。例えば年3回支給される手当を家計表では月単位に換算して計上しますが、実際の入金は4カ月ごとであるため、年間の「キャッシュフロー表」によって月次の家計表では把握できないお金の入りと出による月末残高の変化を把握することができます。これによって、資金繰りの現状を把握し、預貯金の目的ならびに必要性を理解できるようになります。
- 1年ぐらい経過すると、生活の変化に伴って予測できなかったライフイベントも出てくるため、「キャッシュフロー表」は必要に応じて何度も見直していくことが求められます

POINT

「キャッシュフロー表」を作成する中で、ライフイベントに伴う臨時支出・返済金などの支出と、給与や数カ月ごとの収入などの均衡が図られるかを確認していきます。均衡がとれない場合にはライフイベントの見直しを行います。見直しの中で債務整理や滞納金の分割払いの必要性、一時的な借入や返済猶予などの相談について支援を行います。

毎月以外の収入の内容・家族の支出イベントの内容

- 「ライフイベント表」に入力した収入・支出のイベント内容は「キャッシュフロー表」のイベント欄の該当月に反映されます。ライフイベント内容の追加・修正は「キャッシュフロー表」のイベント欄に直接できないため、「ライフイベント表」に戻って追加・修正を行います

1) 収入

- 各費目の金額は「家計計画表」の金額が反映されているので、収入のイベントに沿って実際の支給月、収入が入る月に予定の金額を計上します

年金

- 年金については年金欄に記入します。複数月にまとめて支給される年金は「家計計画表」では月額換算して記入しますが、「キャッシュフロー表」では、実際の支給月に計上します

援助収入や手当等の収入（毎月以外）

- 児童手当などは援助収入や手当等の収入（毎月以外）欄に記入します。複数月についてまとめて支給される手当等を「家計計画表」では月額換算して記入しますが、「キャッシュフロー表」では、実際の支給月に計上します。例えば、児童手当は2月・6月・10月、児童扶養手当は奇数月に支給されます
- 諸手当に関しては、前渡しされた数ヵ月分の支給額が既に使われてしまっていることが多いので、「キャッシュフロー表」を作成するときには、作成当日の手元残高の確認が必要です

POINT

複数月分がまとめて支給される年金や手当は、支給されたらすぐに支出してしまいがちです。そのため、「キャッシュフロー表」を活用して、計画的に支出することを理解してもらうことが大切です。

2) 支出

- 各費目の金額は「家計計画表」の金額が反映されているので、家族のイベントに沿って実際の発生月に予定の金額を計上します
- 支出については、毎月、定額が支出されるものもあれば、家族の成長などにより増減していくものもあります。また、水光熱費など季節によって支出額が変動する項目もあることに留意します

食費・外食費

- 育ち盛りの子どものいる家庭は、一年ごとに食費を増額することなども検討します

住宅ローン・自動車ローンの返済金

- 住宅ローン欄の金額には、毎月の返済金額を計上します。賞与払いの返済金額は、賞与払い月の一時的な支出欄に、月額に加算される金額を計上します。住宅ローンは、段階的に返済額が増加する場合もあるため留意します

銀行・消費者金融等の返済金

- 債務整理後の返済金も、この欄に計上します。完済月を確認して金額の変動に留意します

一時的な支出

- 家計のイベント欄と対応し、年1回程度の出費（例：自動車税、年払いの保険料、夏休み・冬休み、正月・お盆に伴う出費、中元・歳暮、前期・後期払いの授業料）、数年に1回のライフイベントに伴う出費（例：車検・家賃の更新、入学・受験・修学旅行）などを計上します
- 「家計計画表」を作成しながら、次の車検や家賃更新の時期がいつなのか、学費は何月に支払うのかなどを把握し、「キャッシュフロー表」に反映します

POINT

子どもの進学、特に入学時には費用がかかる。そのための備えとして、「キャッシュフロー表」で計画的に貯蓄することを検討する必要があります。例えば、○年○月までに○○万円を入学時の費用として積み立てる、といった具体的な計画を立てることにより、目標がより明確になり、動機づけにもつながります

家計再生のための借入の返済金

- 家計再生のための借入の返済金は、家計改善支援員のアセスメントの結果、貸付による支援が必要と考えられる場合の月額返済計画額を記入します

預貯金預け入れ

- 家計の見直しにより、毎月積み立てる貯金予算を計上し、少しでも貯金をすることが目標になるように相談しながら計上します

POINT

冠婚葬祭の費用や、急な体調悪化に伴う医療費など、予定外の出費に対する備えとして、普段から少しでも予備費の必要性を意識することが重要です。その予備費を貯蓄するために、「キャッシュフロー表」を有効に活用します。キャッシュフローを作成するだけでなく、預金などの行動も促しておきます

.....

急な出来事などで、「キャッシュフロー表」が現状と合わなくなっている場合は、「家計計画表」を見直し修正を行います

.....

最初の相談から時間が経過している場合は「相談時家計表」から見直しを行います